

夢みるこども 基金だより

2009年(平成21年)11月5日(木曜日)第14号



松林の中の環境音楽祭

第15回イベント福岡と唐津で

多くの方々のご協力とご支援により、夢みるこども基金は15年目を迎えました。その節目の年を記念するイベントが8月1、2の両日、福岡市と佐賀県唐津市で開催されました。今年のタイトルは、基金が昨年から重点活動の一つとして位置付けている「地球環境保護」。こどもたちは様々な活動を通じて、環境保護の大切さをアピールしました。

イベントには「わたしのかなえたい夢」のテーマで基金が全国規模で募集した作文・絵の応募者4030人の中から選ばれた小、中学生16人が参加しました。1日は福岡市天神地区で地元の人たちとボランティア団体の人々と一緒に公園や道路の清掃作業をしました。

本番のイベントは、正午から虹の松原の中の野外ステージで「松林の中で環境音楽祭」がありました。基金のこどもたちによる「森は生きている」の合唱や、地元のこどもたちの太鼓やオカリナ演奏、国の重要無形民俗文化財に指定されている唐津くんちのはやしが披露されました。引き続き、唐津市内の4高校のフラスバンド部員73人が「風になりたい」など5曲を演奏して、力強い音色が松林に響き渡りました。

最後に「森全体で一つの音色を奏でる音楽祭を通じて地球環境を守る」との必要性を改めて感じました。私たちはそれを守るために、これからも活動を行っていきます。このことも宣言を発表しました。会場には一般市民も含め約350人が詰めかけ、基金のテーマソング「ドント・ストップ・マイドリーム」を全員で歌い、約2時間のイベントは幕を閉じました。

お知らせ

「夢みるこども基金」のホームページがリニューアルしました。

サイトがより見やすくなりました。
基金の内容がより分かりやすくなりました。
アドレスが短くなり分かりやすくなりました。

詳しくは
14面の特集で

URL: <http://www.yumemirukodomo.jp>



「環境こども新聞」の
なまえが新しくなりました!

環境こども新聞 **ECoko** エココ
Environmental Kodomo Newspaper ECoko

「ECoko」とは環境問題を考えるこども達
Ecology+Kodomoの造語です。



開会式

今回のイベントの舞台は佐賀県唐津市の虹の松原。まさに環境音楽祭というテーマにふさわしい松林の中のステージでの開催となった。今年の司会はRKB毎日放送の池尻和佳子アナウンサー。初参加の女性アナの高らかな声でのスタートとなった。

開会宣言はイラストの部最優秀賞の鹿児島県・平尾小学校6年の小嶋朋佳さんが務めた。

開会挨拶は、中村直理事長代行（福岡県歯科医師会副会長）で、「今年で15年目を迎え、今は1200の協力歯科医院に協力いただいている。今年イベントには4030人の中から選ばれた16人が集まり、福岡県以外での開催は熊本県・阿蘇、南関町、唐津の三か所目となる。唐津市の全面的な協力に感謝している。『環境

こども新聞』の発行や『こども基金の森』づくりを基金の大きな柱とし、これからも多くの人たちの力をお借りして、こどもたちの環境保護の心を育てていきたいと思っています」と挨拶した。



開会の挨拶をする
中村直理事長代行

虹の松原保全活動に協力

唐津市からの歓迎の挨拶では、唐津市観光課長の山下末二氏が、公務で出席できなかった唐津市長の坂井俊之氏のメッセージを代読した。

「今年唐津を舞台にイベントを開催していただいたことを心より歓迎している。ここ虹の松原においても、松くい虫による被害により国の特別名勝があやぶまれており、昨年から地域住民の方々と一緒に保全活動をしている。夢みるこども基金のみなさんにも是非協力をお願いしたい。今日は唐津の町でのすばらしい思い出をつくってください」と挨拶した。

松林での「環境音楽祭」



アグネス理事とキャンペーンソングを歌う基金のこどもたち



力強いこども太鼓の演奏

寄付金の目録贈呈

寄付金の目録贈呈ではネパール歯科医療協力会、福岡・ネパール自動教育振興会、バングラデシュ「夢みるこども基金学校」の3団体に計90万円が贈られた。

中村さんの作文に 開場は温かい空気に

今回、入賞以上に選ばれ、参加したこどもたちは東京、大阪、兵庫など遠方からも含めて16人で、ステージ上で紹介された。作文の部での最優秀賞に輝いた中村陽さん（福岡

県・曲淵小学校4年）の作文が朗読され、妊婦の病院たらいまわし事件の現状を知ったことから産婦人科医になりたいという夢を語った作文に会場で温かい空気に包まれた。

一部、締めくくりは基金の設立当初からの理事であるアグネス・チャンさんの挨拶。アグネス理事の登場に会場が一段と沸きあがった。アグネス理事は、「15年間のいろいろなことがあった。基金の歌を作ったり、大きなキーキを作ったり施設に届けたり、アフリカのこどもたちに贈り物をしたこともあった。こどもの一番の最大の仕事は夢をみること。こどもが夢をみれば大人は頑張れる。こどもたちの夢が社会の活力になり、世界を作っていく。もっとたくさん夢を見て、日本をもっと元気な国にしてほしい。」とこどもたちに語りかけるようなエールを送った。

第二部は「環境音楽祭」というテーマにふさわしく、勢いある地元小学生による太鼓演奏からの幕開けとなった。唐津港太鼓のこども太鼓として平成14年に結成され、小学校4・5年生の12人が和太鼓を演奏した。なかなか間近でみる機会がない大きな和太鼓に参加者のこどもたちの目は輝いていた。

つづいて、こども基金参加者による歌も披露された。今年と第13回の作文の入賞者でもある堀江浩司くん（福岡・城南中学校1年）の指揮で「森は生きています」をこどもたちみんなで合唱した。松林の中に響き渡る歌声は、まさにみんなの環境への願いを込めたメッセージになった。

また、昨年から発行している環境こども新聞について、堀江健一郎くん（福岡・城南中学校3年）が説明した。「第14回のこども会議の仲間の中で、特に地球環境のことを真剣に考えている人が多かった。環境について考えるきっかけがもっと増えてほしいという思いからの発行。2008年10月に創刊号09年2月に2号、先月に3号が発行され、未来へきれいな地球を残したいというぼくたちの願いが込められている。」と語り、こどもたちの新聞部長としての活気が伝わってきた。

第二部

第一部は「環境音楽祭」というテーマにふさわしく、勢いある地元小学生による太鼓演奏からの幕開けとなった。唐津港太鼓のこども太鼓として平成14年に結成され、小学校4・5年生の12人が和太鼓を演奏した。なかなか間近でみる機会がない大きな和太鼓に参加者のこどもたちの目は輝いていた。

つづいて、こども基金参加者による歌も披露された。今年と第13回の作文の入賞者でもある堀江浩司くん（福岡・城南中学校1年）の指揮で「森は生きています」をこどもたちみんなで合唱した。松林の中に響き渡る歌声は、まさにみんなの環境への願いを込めたメッセージになった。

また、昨年から発行している環境こども新聞について、堀江健一郎くん（福岡・城南中学校3年）が説明した。「第14回のこども会議の仲間の中で、特に地球環境のことを真剣に考えている人が多かった。環境について考えるきっかけがもっと増えてほしいという思いからの発行。2008年10月に創刊号09年2月に2号、先月に3号が発行され、未来へきれいな地球を残したいというぼくたちの願いが込められている。」と語り、こどもたちの新聞部長としての活気が伝わってきた。

私たちはこの松林と ずっと仲良しでいたい

その後も、唐津くんち「曳山」の青獅子ばやしの披露や東唐津小学校の児童によるオカリナ演奏と続き、まさに松林の森と一体となった音楽祭となった。オカリナ演奏では、松林へのメッセージを間に挟んだ語り演奏形式で、最後に「私たちはこの松林とずっと仲良しでいたいです」で結んだ。

オカリナの音色は夏の涼しさを感じさせた。また、伊藤実喜医師によるマジックショーでは、目の前で繰り広げられる様々なマジックにこどもたちは釘付けだった。

平和を願う 歌声が松林に響いた

地元の高校4校計73人によるプラスバンド演奏では、「夏祭り」「銀河鉄道999」「空も飛べるはず」「夏色」「風になりたい」の5曲が演奏され観客も大いに盛り上がった。

2部の締めくくりはやはりアグネス・チャン理事の歌だ。「ひなげしの花」「草原の輝き20005」「しあわせの花」「Peaceful World」ピースフル

ワールド」の4曲を熱唱し、会場は大いに盛り上がりを見せた。その中でも、「Peaceful World」は、平和を願うアグネス理事が作曲した曲だ。

こどもはたくさん夢を見て大人はその手伝いを

アグネス理事は「食べられない・勉強できない・働かされているこどもたち・HIVになつてしまったこどもたち・人身売買にあったこどもたちがいる。日本のこどもは恵まれている。生きたくても生きられなかったこどもたちの分まで生きてください」とこどもたちに語りかけ、「毎年日本は8月になると平和を考える。これはすばらしい習慣だと思ふ。平和を愛する心、これは日本に来て一番学んだ宝」と語り、8月にふさわしい平和への感謝の心を皆で感じたひと時だった。

また最後に、「作文・絵の応募も増えてもう4000点を超えた。たくさんこどもたちが自分の夢について考えてほしい。夢みるときは大人がみるような夢ではなく先生に教わるような夢でもな

く、とんでもない夢をみてほしい。どんな時代でもこどもがとんでもない夢をみるから進歩してきた。こどもはたくさん夢をみて、大人はその夢みる心のお手伝いをしていこう」とこのキャンペーンの原点を振り返った。

閉会式

こども宣言はこどもたちが全員で声高らかに読み上げた。「自然のバランスが崩れると森も輝きを失う」「自然を守る小さな一歩が未来につながる」というこどもたちの言葉に観客もうなずいていた。最後はアグネス理事と会場の人たちも含めて全員がキャンペーンソングを歌った。

閉会の挨拶では、基金OB、OG会長の九州歯科大学研修医の長尾伶美理事が「この夢みるこどもキャンペーンは、学校部活動とは違う第3のこどもたちの場所としてあってほしい。いつもと違う自分を発見できる場所であってほしい。大自然で過ごしたこの2日間、そしてそれを共有できた友達はいつまでたっても色あせない宝物になると思う」と挨拶してイベントが幕を閉じた。

多彩なプログラムで盛り上がる



小学生のオカリナ演奏



高校生73人によるブラスバンド演奏

Topics 1



天神の道を清掃する基金のこどもたち

公園や道路の清掃活動

天神周辺のごみ清掃活動を行った。先導してくれたのは、「グリーンバード福岡」のみなさん。グリーンバードとは「きれいな街は、人の心もきれいにする」をコンセプトに、全国のごみ清掃活動を行っているボランティア団体で、さまざまな地域の活動にも積極的に参加をしている。今回はその福岡チームの指導の下、天神周辺のごみ清掃活動を行った。

炎天下の中の作業

こどもたちはゴミ袋とトンガを片手に、たばこの吸い殻や空き缶を見つけてはゴミを目掛けて我先にと駆け寄っていた。自分自身の手で福岡の街をきれいに

にしているんだという意識を持ったようで、宝探しのごとく隅々までのゴミを拾っていく姿が、まさに地球環境の未来を担う姿と重なってみえた。炎天下の中約1時間、こどもたちはいっぱいになったゴミ袋を両手に、すがすがしい汗を流した。

前夜祭

砂浜に並べられた大きな15個のスイカを前にこどもたちは大はしやぎだつた。夏の風物詩のスイカ割り。今年の前夜祭は唐津市の虹の松原海岸でのスイカ割りから始まった。「もつと前!」「右だよ!」目隠しされたこどもたちを翻弄させる掛け声が舞う。スイカに棒が当たると周囲から歓声があがった。スイカを割った子は誇らしげに目隠しのタオルを取り、惜しくもはずれた子は悔しそうに再度挑戦すべく順巻を待つ。風の強い夕暮れだったが、逆風に立ち向かうかのごとくスイカに突進していくこどもたちの姿は、自らの足で未来を切り開いていく姿にも重なって見えた。自分らが割ったスイカ

をおいしそうにほおばっていた。夕食後は市内の西の浜海水浴場にサンドクラフト(砂像)とペットボトル5000個を使ったイルミネーションの見物へ出かけた。砂に海水を混ぜて固めているようで、いろいろなキャラクターや城が形作られていた。まるで札幌雪祭りの砂パレードのようだ。5000個ものペットボトルの中にカラフルな電球がそれぞれつけられ、夜の海辺に浮かび上がる。大きな砂のお城もあり、お城につながる砂浜は端々がライオンアツプされており、まるで夢の世界への通り道かのようなだった。

この一面の光景にこどもたちは大興奮だった。それぞれ自分のお気に入りのキャラクターの場所へ行き、内部構造を分析している子やカメラ片手に熱心に撮影している子、まねをして砂で工作を始める子。それぞれが夏の海辺で思い思いの時間をすごしていた。ペットボトルにライオンアツプされた夏の夜の海辺。

夏のイルミネーションも悪くない。

今年のテーマは『地球環境保護』

第15回夢みるこどもキャンペーン 「写真でふりかえる思い出」

8月1、2の両日、福岡市内と佐賀県唐津市内で開催したイベントの様子を写真で紹介します。

こどもたちは、イベントに協力していただいた地元のこどもたちや
出演者の人たちと一緒に自分たちの「夢」が実現した喜びをかみしめていました。



松葉かき作業を体験



こどもたちには
キラキラとした
一生の宝物に
なったね！



観客で埋まったイベント開場



西の浜海水浴場のイルミネーションを見学



こどもを相手にマジックショーを披露する伊藤実喜医師



唐津くんち「曳山」の囃子を演じる保存会の人たち



唐津市鏡山で記念撮影する基金のこどもたち

Kodomo Declaration

第15回 こども宣言

私たちの小さな夢がたくさんの人々の協力で大きくふくらみ、今日全国のこどもたちが佐賀県の虹の松原に集い、第15回夢みるこどもキャンペーンイベント「環境音楽祭」を開きました。皆で環境のことを考え、共に時間を共有したことで、私たちはこの場所で新たな絆を築くことができました。

ここ、虹の松原は、たくさんの自然に囲まれています。見渡す限りに広がる松原に五感を研ぎ澄まして、体で感じてみると、今まで気づかなかった様々な音が聞こえてきました。木のざわめき、風の通りすぎる音、波のせせらぎ、動物、植物たちの息づく音。それらひとつひとつの音が、互いに共鳴しあい、まるで森全体で一つの音楽を奏でているかのようです。そう、ここは森のオーケストラの舞台です。

しかし、普段私たちはその音楽に気づくことができません。それは、私たちが自然を体で感じることを忘れてしまったからではないでしょうか。目に見えて技術進歩する現代社会とは裏腹に、環境破壊の多くは目に見えません。私たちは目に見えないものを追うあまりに、影で壊されていく環境の変化に気づかず、知らず知らずのうちに自然のバランスを崩してしまっていたのです。自然のバランスが崩れると、森もまたリズムを崩し、今、オーケストラは輝きを失いつつあります。「自然を感じる」とは、どういうことでしょうか。私たちの毎日の暮らしの中で、あらゆるところに地球の資源が使われています。そう、自然は私たちの生活の中にたくさん隠れているのです。その隠れた自然を見つけ出し、大切にしたいという心が、既に「エコ」なのです。

今、さまざまな場所で「エコライフ」が謳われていますが、難しいことではありません。自分から出来ること、身近なエコ活動が続けることによって、近い将来それが隣り合わせの生活になるのです。つまり、「自然を感じる」とは、地球の資源を大切にすること、ということなのです。私たちの希望が、つまった「基金の森」づくりや、昨年から発行している「環境こども新聞」。そのどちらも、自分たちから出来ることから始めた活動です。この小さな一歩が未来への大きな一歩につながると信じています。私たちの夢はどんどん広がっています。胸に手をあてると、私たちの鼓動が聞こえます。「生きている音」です。森にも鼓動があるのです。その「生きている音」をどうか目で耳で肌で感じてください。そうすれば、きっと森の音楽も輝きを取り戻してくれるでしょう。

地球が生まれて何億年にもわたって打ち続けているその音を、私たちは次の未来へつなげていくことを新たな決意とし、この虹の松原での友情を胸に、地に足をつけしっかりと歩んでいきたいと思っています。音と緑あふれる未来を願って。

平成21年8月2日
第15回夢みるこども
キャンペーン
「松林の中で環境音楽祭」
参加者一同



力強い「こども宣言」の発表





環境保護などの意見が出たこども会議



こども会議 第15回

夏休みに開催するイベントの内容を決める第15回「こども会議」が3月29日、福岡市中央区天神のアクロス福岡・円形ホールで開かれました。



「夢」を語り合うこどもたち

環境保護を中心に 真剣な話し合いが続く

学生4030人の作文・絵の応募者の中から選ばれた23人と保護者、基金関係者、一般市民など約180人が参加しました。中村直理事長代行（福岡県歯科医師会副会長）が「今年も応募者が4000人を超えたのは、自分の夢を掲げてそれに向かっていくことも大切がこのキャンペーンを楽しんでいます。昨年のこども会議で地球環境保護をテーマにするのを決めて、すでに環境こども新聞を発行するなど様々な活動を行っています。活発な意見を出して、楽しく、意義のあるイベントにして下さい」と挨拶しました。

古市悟常任理事・事務局長（元スポーツ報知西日本本社取締役編集部長）が作文について、平松暁実行委員（グラフィックデザイナー）が絵についての審査結果を発表しました。作文・絵とも純粋で熱い思いが込められており、採点するのが大変だったそうです。

引き続き入賞者の表彰があり、基金の役員から賞状と賞品が贈られました。作文の部で最優秀賞になった中村陽さん（福岡市・曲淵小3年）と絵の部で最優秀賞になった小嶋朋佳さん（鹿児島県長島町・平尾小5年）が作品を紹介しました。

このあと「こども会議」に移り、アグネス・チャン基金理事と中原淳一J.R東海課長がコーディネートになり、話し合いになりました。「動物の里親探しをしたい」「体の不自由な人を助けるロボットを作りたい」「無人島でサバイバル生活をした」「山や森で遊びたい」「松葉かきをした」「それぞれの作品に込めた夢が次々と出ました。

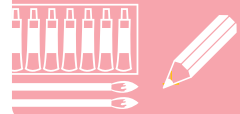
その結果、基金が活動のテーマにしている地球環境保護にもつながるため、佐賀県唐津市の国の特別名勝・虹の松原で環境音楽祭を開き、環境保護の呼び掛けをするこになりました。その他松葉かきの体験やスイカ割りなどすることイカを申し合わせ、こどもたちは夏のイベントを楽しみに目を輝かせていました。

絵と作文の応募者4000人を超える
応募総数4030点 作文2115点・絵1915点
■第15回 作文の部・入賞者リスト(22名)
最優秀賞(1名) 中村陽 福岡市・曲淵小学校3年 「こんなにちは、赤ちゃん」
優秀賞(2名) 赤崎彩梨 大分大分中学校1年 「見えないベールに包まれて」 瀬戸山功平 鹿児島県獅子島小学校3年 「ぼくのゆめ」

特選(6名) 堀江浩司 福岡城南小学校6年 「夢と希望」 作田祐也 熊本本渡南小学校5年 「目指せ日本代表」 今林花帆 福岡奈多小学校5年 「先生のようになりたい」 先生になりたいたい 崎津優誠 兵庫芦屋大学附属中学校1年 「なつたしい未来の実現」 堀江健一郎 福岡城南中学校2年 「心の輪」 高野愛花 福岡桜原小学校6年 「花で広げる笑顔の輪」
入選(13名) 柳田周帆 奈良神功小学校6年 「和をつなぐ」 永岡もも 鹿児島平尾小学校2年 「わたしのかなえたいゆめ」 山下千佳 福岡福岡教育大学附属久留米小学校5年 「私の夢」 岩野美咲 福岡岡和白東小学校6年 「私のかなえたい夢」 松尾浄尚 福岡大牟田小学校5年 「わたしのかなえたい夢」 松本千紘 福岡若松中央小学校4年 「ぼのぼの絵本作家」 大西真里子 福岡東郷中学校2年 「わたしの夢」 西岡るり 福岡愛宕浜小学校2年 「わたしはまほうつかい」 角田希望 福岡玉川小学校2年 「みらいのえほん」 櫻井唯千香 茨城石岡小学校2年 「食べるとやせるケーキ」 松尾菜穂子 佐賀田頭小学校6年 「私の将来の夢」 花田有紀 福岡長尾小学校6年 「こんな機械があると便利だな」 木原隆弘 福岡春日東小学校3年 「ぜつめつつくしゅをへらしたい」

■第15回 イラストの部・入賞者リスト(25名)
最優秀賞(1名) 小嶋朋佳 鹿児島平尾小学校5年 「木を切らないで」
優秀賞(2名) 瀧屋江里 大阪池田中学校1年 「森を作りたい」 楠渡 工佐 鍋島中学校1年 「戦争をなくしたい」 特選(6名) 荒川友一 鹿児島田原小学校6年 「デカバ」 ス川出星乃華 福岡朽網小学校6年 「たぐさん星がみたい」 重岡空 福岡片江小学校5年 「有名なチェロ奏者」 須井悠介 大阪松原小学校6年 「龍に乗って地底探検に行きたい」 山口桃加 福岡南片江小学校1年 「ピエロの先生」 NASRULLAH バングラデシュ 夢みるこども基金学校4年 入選(16名) 東葉路 福岡与原小学校4年 「宇宙の中でプ」 ランコしたい」 井上実紀 福岡長住小学校5年 「探検家」 若内大輝 鹿児島獅子島中学校1年 「無人島でサバイバル」 佐藤広志 大阪松原中学校2年 「タイムマシンでレオナルドダヴィンチと会いたい」 白浜玲央 鹿児島平尾小学校3年 「恐竜博士になりたい」 中浦恵成 鹿児島幣串小学校5年 「オサの養殖のあとつぎ」 林花音 東京東湖江小学校2年 「ベットのこころを空を飛びたい」 平井志歩 福岡福岡中学校2年 「バイクに乗って旅したい」 藤井岳大 広島高陽中学校2年 「世界の遺跡や自然を見たい」 山口寛太 福岡与原小学校4年 「自然の中で動物と触れ合いたい」 山口拓郎 福岡大池小学校5年 「カメラ作って虫の写真をとりたい」 吉原鉄平 福岡与原小学校4年 「漫画家」 吉村陸 福岡水城西小学校4年 「無人島で巨大なジャン」 夢みるこども基金学校3年 夢みるこども基金学校3年 FAI S A L A H M E D バングラデシュ 夢みるこども基金学校4年 Mohammad Asadullah Al Mun バングラデシュ 夢みるこども基金学校8年

夢みるこども
キャンペーン



第15回夢みるこどもキャンペーン

「わたしのかなえない夢」 作文・絵コンクール・最優秀賞



絵の部・最優秀賞

最優秀賞
小崎 朋佳
鹿児島県
平尾小学校5年
(入賞当時)

「木をきらないで」

わたしの夢は
自然がなくならないことです。
今は木をたくさん切っています。
だから切ってほしくないです。



作文の部・最優秀賞



最優秀賞
中村 陽
福岡県
曲淵小学校3年
(入賞当時)

「こんにちは、赤ちゃん」

12月26日はわたしのた
ん生日です。お母さんは
たん生日に必ず、

「陽、生まれてきてくれ
てありがとう」と、わた
しに言います。そして、
わたしも、「お母さん、
産んでくれてありがとう」
と、お礼を言います。き
つと、たくさんのお母さ
んがわたしのお母さんの
ように、自分のこどもが
産まれることをとっても
とっても楽しみにしてい
るのだと思います。

しかし、昨年ニュース
で何人ものお母さんが、
もうすぐ赤ちゃんに会え
るのに、救急車でたくさ
んの病院をたらい回しに
され、赤ちゃんに会えず
に死んでいったと聞きま
した。産まれてきた赤ち
やんもどんどん大きくな
っていくのに、お母さん
のオッパイを飲むことも
できず、お母さんにだい

でもらうこともできない
のです。わたしは9さい
になっても元気が出ない
ときや何か失敗したとき、
お母さんにぎゅうつとだ
きしめてもらおうと、たく
さんのエネルギーがたま
ってきます。だから、お
母さんが死んでしまった
赤ちゃんがかわいそうで
たまりません。

どうしてそんなことに
なるのでしょうか。わたし
は、新聞を読んでもらっ
てわかったことがあります。
産婦人科の先生や病
院が足りないのです。し
かし、長野県は15年も前
から1回も受け入れきよ
ひをしていないという、
すてきなニュースも聞き
ました。でも、長野県の
一人の先生は一ヶ月の間、
休みは1回しかなくて30
時間も働き続けた日が7
日もあったそうです。先
生たちもがんばっている

けど、どうしようもない
のかもしれません。
わたしのゆめ。この世
の中に産まれて来る赤ち
やんががんばったお母さ
んに、「こんにちは。お
めでどう」と言っておげ
られる産婦人科の先生に
なること。たくさんのお
めでどうを言っておげた
いです。

Topics.2 福岡市の公園に サクラの植樹

こども会議に先立ち
3月29日の午前、こども
も代表5人は福岡市東
区緑ヶ丘の青葉公園の
一画にサクラ（2年生
木で高さ約2m）7本
を植樹しました。「環境
こども新聞」の発行に続
く、地球環境保護の2つ
目の活動です。

こどもたちは穴を掘
って植えられたサクラ
の苗木の根元にシャベ
ルで土を盛り付け、水
をかけてサクラが元氣
に根付くように願いま
した。その一画には「夢
みるこども基金」の看板
も立てました。

これから毎年、7、
8本のサクラを植えて
こども「サクラの園」に
して、市民に花見を楽
しんでもらう計画です。

歯医者さんばくたち、わたしたちの夢を 応援してくれて「ありがとう」

Thank you
The Dentist



山口 桃加

福岡・南江小学校2年

私の夢がかないました。本当に心から感謝しています。そして歯医者さんのお陰でこんな普通では出来なかったことが出来てとても嬉しです。ありがとうございます。



作田 祐也

熊本・本渡南小学校6年

ぼくは矯正をしていて毎月歯医者さんに通っていますが、今回の授賞式ではじめて歯医者さんの活動を知りました。僕たちの夢を応援して下さい。ありがとうございます。



柳田 周帆

奈良・平城西中学校1年

基金を応援して下さい。ありがとうございます。基金のおかげでたくさんの子どもたちが笑顔になることが出来ました。これからも、どうぞ支援よろしくお願いします。



林花音

東京・東刺江小学校6年

私は虫歯のちりょうだけでなく歯のきょう正でも歯医者さんにお世話になっています。本当にありがとうございます。



松尾 浄尚

福岡・大牟田小学校6年

歯医者さんの金属冠リサイクルのおかげで僕たちの夢がかなえられ、僕たちの手で行なう環境活動や福祉活動に役立っています。



赤峰 彩梨

大分・大分中学校2年

普通ではなかなか会うことが出来ない人に会えたり、速く離れた人と友達になれて嬉しいです。この企画はずっと続いて欲しいです。私たちに新たな夢をくれてありがとう。



中村 陽

福岡・曲曲小学校4年

わたしは2才の時から、歯医者さんに歯のみがき方を教わっています。ピカピカの歯なので気持ちがいいです。分かりやすく教えてくれてありがとうございます。



山下 千佳

福岡・福岡教育局附属留米小学校4年

金属冠を寄付して頂き本当にありがとうございます。私が全国の子どもたちと交流し「夢」について深く考えられたのも先生方のおかげです。これから夢に向かって頑張っていきたいと思います。



濱屋 江里

大塚・池田中学校2年

今年も参加させて頂き、普段出来ない様な経験をし、感動を味わえ、楽しい思い出が沢山できました。これからも、皆さんと一緒に素晴らしい活動を続けたいです。歯医者さん本当にありがとうございます。



升田 菜路

福岡・与原小学校6年

歯医者さんが歯を大切にすることを教えてくれました。歯医者さんの協力があってから、私たちのいろいろな夢がかなえることができます。これからも子どもたちの夢のために頑張ってください。

子どもたちから
歯医者さんへ
たくさんの感謝の
言葉が届いてます



崎津 優誠

兵庫・芦屋学園中学校2年

この様な機会に出席でき、とても良い経験となり将来忘れられない思い出になると思います。僕も大人になった時、歯医者さんのようにこの子どもたちに夢を与えられる人になりたいと思います。歯医者さんありがとうございます。



吉村 陸

福岡・水城西小学校6年

ぼくの絵が入選したことを光栄に思っています。カンパチを捕る夢はいつか叶えます。これからもみんなの夢を応援して下さい。



須井 悠介

大阪・松原小学校中学校1年

ぼくは中学1年になったけど、まだ虫歯が一本もありません。それはよく歯医者さんに行っているからだと思います。歯医者さんありがとうございます。



樋渡 工

佐賀・鍋島中学校2年

金属冠がリサイクルされている事と歯医者さんでこのような活動が行われていることを初めて知りました。僕の周りにも伝えたいと思います。



井上 実紀

福岡・長柱小学校6年

夢みる子ども基金の活動が歯医者さんの金属冠の寄付によって、ネパールをはじめ様々な国を支援していることを知りました。私はとても素晴らしいことだと思います。この活動の輪がもっと広がればいいなと思いました。



高野 愛花

福岡・宇美中学校1年

今年の子ども会議では午前中にサクラの植樹など貴重な体験をありがとうございました。これからもたくさんの夢や目標を持って進んで行きたいです。



藤井 岳大

広島・高陽中学校3年

歯医者さん、これからも子どもたちの夢をかなえるために頑張ってください。また、もし僕が虫歯になった時はよろしくお願いします。



小嶋 朋佳

鹿児島・平尾小学校6年

歯医者さんは私たち家族の歯をいつもなおして下さいありがとうございます。虫歯や歯が痛い時は丁寧に治療して下さい。それで、子ども会議や8月にあるイベントができます。ありがとうございます。



堀江 浩司

福岡・城南中学校1年

歯科医院の先生方のご厚意のお陰で、たくさんの人たちとの出会いがありました。そして、貴重な体験を本当にありがとうございます。



堀江 健一郎

福岡・城南中学校3年

僕の中学生生活の中で、夢みる子ども基金でのイベントや新聞作りは貴重な体験でした。本当に感謝しています。

寄付活動



夢みるこども基金は、こどもたちの「夢の実現」が本来の目的ですが、財政が許す範囲で様々な寄付や助成金を出しています。今年もバングラデシュ・カラムディ村の「夢みるこども基金学校」に50万円、ネパール歯科医療協力会に30万円、福岡・ネパール児童教育振興会に10万円をそれぞれ寄付しました。

■夢みるこども基金 寄付一覧表

寄付金内容	金額	寄付金内容	金額
平成 7年 8月 24時間テレビ愛は地球を救う	300,000	平成16年 6月 バングラデシュ夢みるこども基金学校(北・機代20万を含む)	300,119
平成 9年 7月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成16年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成10年 3月 バングラデシュ夢みるこども基金学校(学校建設費)	2,000,000	平成16年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成10年 7月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成17年 1月 新潟県中越地震	3,000,000
平成11年 3月 バングラデシュ夢みるこども基金学校(学校建設補助金)	600,000	平成17年 4月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	3,000,000
平成11年 8月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	100,000	平成17年 6月 スマトラ沖地震	2,000,000
平成11年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成17年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成11年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成17年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成11年12月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	103,700	平成18年 7月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	300,006
平成12年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成18年 7月 江田果瑠奈さん(心臓移植手術)	100,000
平成12年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成18年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成13年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成18年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成13年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成19年 2月 九州盲導犬協会(盲導犬二頭)	1,800,000
平成13年12月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	2,000,001	平成19年 7月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	1,000,000
平成14年 3月 8020推進財団	2,000,000	平成19年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成14年 9月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成19年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成14年 9月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成20年10月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	500,000
平成14年 9月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	100,116	平成20年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成15年 1月 九州盲導犬協会(盲導犬一頭)	1,800,000	平成20年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成15年10月 ネパール歯科医療協力会	300,000	平成21年 8月 ネパール歯科医療協力会	300,000
平成15年10月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000	平成21年 8月 福岡・ネパール児童教育振興会	100,000
平成15年10月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	140,411	平成21年 9月 バングラデシュ夢みるこども基金学校	500,000
平成15年10月 イラク・アジアエキュメニカル奉仕会	300,000		
		合 計	26,944,353

Topics 3

バングラデシュの 「夢みるこども基金学校」 の関係者が来日



来日したNGO法人ションダニ・シヨンスターの関係者

バングラデシュ・カラムディ村で夢みるこども基金学校などを運営するNGO法人ションダニ・シヨンスターの関係者2人が来日し、10月5日、夢みるこども基金事務局を訪れました。

2人は夢みるこども基金学校校長のハビグール・ラフマンさん(35)とシヨンスター・シヨンスター(50)の医療担当のエクラムル・ホックさん(50)の支援を続けてい

バングラデシュと手をつなぐ会理事の矢野孝明さん(33)(福岡県立春日高校教諭)の案内で基金事務局に来た二人は「1999年に基金学校が開校できたのも基金のおかげです。その後も毎年基金から資金援助を受けて感謝しています」基金学校には、現在、小、中、高校生約800人が在籍しており、バングラデシュ国内でも注目される学校に成長して入学希望者が全国各地から殺到しています。基金の夢の作文・絵コンクールにも応募していますので、夏のイベントをバングラデシュでも開催してもらいたい」と話していました。

「歯医者さんへ」こどもたちへのメッセージをお願いします

基金だよりでは、こどもたちからの「歯医者さんありがとうのメッセージ」に対し、協力歯科医院の先生方からこどもたちへの「歯科医からのメッセージ」のコーナーを設けています。こどもたちへの励ましやアドバイスなどの投稿をお願いします。住所、歯科医院名、氏名、顔写真付きで50～100字程度を目安にしていますが、いくらでも構いません。

●メッセージの送り先

夢みるこども基金事務局

〒810-0042福岡県福岡市中央区赤坂1-12-6-2F

FAX 092-751-0249

e-mail : jimukyoku@yumemirukodomo.jp

ペン」夢のイベント



15年のあゆみ

『夢みるこども
キャンペーン』



第6回

H12. 8/6

「フリカの大地に根付け こどもたちの願い」

福岡県・宇美町の農家で開催。内戦で苦しむアフリカ・スーダンに贈る食物の種子を収穫し、ユニセフを通じて現地に送った。その後、竹馬、竹とんぼも作り、こども全員で遊んだ。翌日、児童養護施設に贈呈した。



第1回

H7. 7/27～29

「阿蘇こども出会いの里」

熊本県・阿蘇で開催。阪神大震災で両親を亡くしたこどもたちを阿蘇に招き、ホームステイ。こども会議のこどもたちや地元のこどもたちと大自然に触れ、交流を深めた。



第7回

H13. 8/5

「バリアフリーの 社会を作ろう」

福岡市・TNC会館で「こどもシンポジウム」を開催。バリアフリーについてのこどもたちの意見をまとめ、小泉首相や行政機関に届けた。また、福岡盲導犬協会へ盲導犬1頭を寄贈した。



第2回

H8. 7/25～27

「阿蘇こどもみどり村」

熊本県・阿蘇で開催。こども会議のこどもたち、筋ジストロフィーの少年たち、阿蘇のこどもたち、関係者ら総勢約200人が参加。雄大な自然の中で交流を深めた。



第8回

H14. 8/4

「世界のこどもたちと交流」

福岡市・ベイサイドプレイスで開催。「歌・踊り・食・遊び」を通じて国際交流をし、食の交流で一般市民から頂いた食事チケットの代金を九州大学留学生センターに寄付した。



第3回

H9. 7/21～22

「世界のこどもと 手をつなごう」

福岡市・大手門会館で開催。バングラデシュのカラムディ村から先生とこどもの計3人を招き、関係者も含め総勢約150人が参加。カラムディ村に「夢みるこども基金学校」の建設資金を贈呈した。



第9回

H15. 8/3

「日本の心をイラクの こどもたちへ」

福岡市・アクロス福岡で開催。日本古来の玩具(竹馬、竹とんぼ、こま、折り紙、お手玉)、パッチワーク、教材費をイラクのこどもたちへ贈った。



第4回

H10. 7/24～25

「夢の放送局」

福岡市・キャナルシティ博多のサンプラザで開局。こどもたちの夢トークや、筋ジストロフィーの少年バンドによるライブが行われた。また、市内中心部をラブウォークし、バングラデシュ「夢みるこども基金学校」の教材費のために募金を呼びかけた。



第10回

H16. 8/1

「こどもたちが結ぶ10年の夢」

福岡市・アクロス福岡で開催。10回目の記念イベントとして第10回の「こども会議」のこどもたちに、1回～9回のイベントに参加したこどもたちも加わり、総勢52名のこどもたちが参加。全員で高さ1.8m、全長12.6mの巨大な張り絵を製作した。また、福岡盲導犬協会へ2頭目の盲導犬の目録を寄贈した。



第5回

H11. 8/8～9

「ケーキがつなぐ友情の輪」

熊本県・南関町で開催。第1回のイベントに参加したこどもたちや、当時のホームスティ先の方々なども一緒に大きなケーキ作りに挑戦。出来上がったケーキを児童養護施設へプレゼントした。

これまでの「夢みるこどもキャン

こどもたちの夢がかなうまで…

1

作文・イラストの公募

毎年、「わたしのかなえたい夢」をテーマに公募。
対象は全国の小学生～中学2年生まで

2

審査

「夢みるこども基金」理事会・実行委員会にて作文・イラストを審査し入賞者を決定

3

こども会議

春休みに入賞者を招待し福岡市内で「こども会議」を開催。夏休みに行う「夢のイベント」を決定

4

夢のイベント

夏休みに「こども会議」のメンバーを招待し、夢を実現させるイベントを開催

協力歯科医院数(都道府県内訳)

県名	医院数	県名	医院数
福岡	275	静岡	13
東京	156	栃木	9
鹿児島	43	愛知	10
山口	46	香川	11
大分	41	群馬	8
神奈川	50	岩手	11
兵庫	41	山形	8
熊本	28	長野	8
北海道	35	岐阜	6
埼玉	41	愛媛	7
長崎	35	奈良	3
千葉	39	山梨	5
佐賀	33	島根	4
福島	24	福井	4
宮崎	20	石川	5
大阪	18	京都	3
茨城	15	滋賀	3
宮城	15	徳島	3
沖縄	14	高知	1
広島	14	鳥取	2
岡山	12	和歌山	1
新潟	14	秋田	1
青森	15	富山	1
三重	11		

平成21年9月15日現在 合計1162件

第11回

H17. 7/31

「キャンペーンのふる里で新潟・山古志 福岡・玄界島の震災地の友と交流」

熊本県阿蘇・高森町で開催。こども会議のこども15人、新潟・山古志のこどもたち25人、福岡・玄界島のこどもたち30人、それに地元のこどもたちも加わり総勢123人のこどもたちが参加。ホームステイ、キャンプファイヤーなどで交流を深めた。また、参加できなかった山古志と玄界島のこどもたちに、木工品を手作りし贈った。



第12回

H18. 7/30

「いつか笑いがモノを言う ～人生は笑顔から～」

福岡市・電気ホールで開催。「笑い」をテーマにした絵本の読み聞かせやマジックショーなどを行った。また、作文の最優秀賞に選ばれた江田君の姉・果瑠奈さんがドイツで心臓移植手術を受けるための募金の応援をし、基金からも寄付金を贈った。



第13回

H19. 8/5

「夢と希望をメロディーに乗せて～こども音楽祭」

福岡市・都久志会館で開催。ハンデを乗り越えて夢と希望を忘れずに頑張ろうというテーマのもと、こどもたちの合唱や居合道、太鼓演奏などで盛り上がった。また、こどもたち18人とアグネス・チャン理事はイベントに先立ち、福岡県西方沖地震で被害を受けた同市・玄界島を慰問した。



第14回

H20. 8/10

「地球を守るために『こども隊』出動」

福岡市・福岡明治安田生命ホールで開催。地球環境保護をテーマに環境こどもサミットを開き、林野庁から貸与が提案されている佐賀県内の国有林を『夢みるこども基金の森』とし、どのような使い方をするかなどアイデアを出し合ったり、「環境こども新聞」の発行を決めた。また、バナナの叩き売り口上や障害を持つこどもたちなどによる劇、手話ダンスなどで盛り上がった。サミットに先立ち、イベント前日にはこどもたちが佐賀県唐津市虹の松原で林業体験作業を行った。



第15回

H21. 8/2

「松林の中で環境音楽祭」

福岡市と佐賀県唐津市で開催。テーマは「地球環境保護」、イベント前日はNPO法人「グリーンバード福岡」と、福岡市内の公園などのゴミの清掃作業を行い、イベント当日は佐賀県森林管理署の「林業教室」に参加後、唐津市の虹ノ松原国有林で松葉かき作業を体験。午後は虹ノ松原野外ステージで「松林の中で環境音楽祭」を開催。集まった約350人は、地元のこどもたちの太鼓などの演奏、基金のこどもたちの合唱、唐津くんちの「曳山ばやし」の披露、唐津市内の4高校のブラスバンド演奏などで盛り上がった。



3団体 活動報告



元氣な歌声を披露する基金学校の子どもたち

夢みる子ども 基金学校

例年通り今年も8月20日、基金学校を訪問しました。学校側は大きな行事としてこの日を迎えました。その背景には2つの要因がありました。その1つは、日本から3人の学生を含む私たち12名の訪問参加者であったこと、もう1つはクルナ国立大学の前学長が私たちの訪問に合わせて基金学校を訪問することになったのです。

これまで大学は一般市

バン格拉デシユ夢みる子ども基金学校

バン格拉デシユで注目される 基金学校の生徒たちの学業成績

民や小中学生にとってはるかに夢のような存在でした。これから大学とそとの下の教育機関との関係を作り上げることが目的で、一番はじめに基金学校が選ばれたそうです。そのほか、メヘルプール県の行政官やガン二郡議会の議長なども参加しました。このことは、基金学校が10年間足らずで地域にはもちろん、全国的にも注目されていると言えるでしょう。

当日私たちは朝9時に学校に到着し、子どもたちと交流しました。子どもたちからさまざまな質問がありました。たとえば、日本の子どもたちはどのように進学が決まるのか、という分野に進む傾向が強いかなどです。日本の子どもたちの現状にとっても興味を持っていたようでした。

11時から高校の校庭に大きな野外ステージが作られ、全校生徒、保護者、地域住民、地域の他

の学校の関係者など約2000名が参加しました。子どもたちによる歌や踊り、小さな劇などで観客は何もかも忘れてしまったようなひと時でした。

バン格拉デシユ国内で夢みる子ども基金学校の名前が全国的に広がっていることが、学業成績が一番にあげられます。開校以来、毎年成績が伸びてきて、昨年度の試験で基金学校は県内第一の座を獲得しました。

子どもたちの学力競争を促進するために教育委員会主催で毎年12月に5年生と8年生を対象に試験があります。基本的に各学校から成績の優秀な学生が試験に参加します。成績は最優等生 (talent pool) と優等生 (general) に分けられています。前者には月300タカ (500円相当) と後者には月200タカ (300円相当) の奨学金が支給されます。2008年度ガン二郡の8年生奨学金

定員は talent pool 22名、general 47名合計69名に対して、子ども基金学校の成績は talent pool 11名、general 13名 (48名中) の内、合計18名は優等生として成績を収め、第1位となりました。

また基金学校卒業生は今ダッカの大学をはじめ、全国の一流高校や大学に進学しています。訪問の際、子どもたちは「医者になりたい、エンジニアになりたい、公務員になりたい、あるいは政治家になりたい」と目を輝かせて夢を語っていました。彼らの夢を実現させるため、私はこれからも協力して行きたいと思っています。引き続き、基金を始め皆様のご協力とご支援をよろしくお願い致します。

日本側責任者
ラフマン・モクレスール

◆ネパール歯科医療協力会◆

ネパール歯科医療協力会は2009年8月15日から8月24日にかけて23次夏隊をネパールに派遣しました。夏隊の目標は現地の人により実施中の保健活動の自立支援です。村の小学校に出かけ実際にどのような活動が実施されているかを視察します。新規フィールドでの予備調査、母子保険プロジェクトの推進などを行う隊を編成しました。隊員は9名で、この内学生が4人です。学生諸君はそれぞれテーマを担当し、プロジェクトを遂行し成果をあげました。派遣地はネパール国ラリトプール郡テチョー村、ダバケル村、チャバガオン村、スナコシ村、ルプ村です。今回のミッションで一番感動したことは4つの村の小学校を訪問し、フッ素洗口状況や口腔清掃状況を観察しましたがどの学校でも完璧に実施されており、これまでの私たちの活動の成果を確認出来たことと、現地口腔保健専門家との信頼の絆が深い事を感じたことです。また、母子保健に関してネパール政府ラリトプール郡ヘルスオフィスのアンピカ女史との共同事業が進展しました。これはJOCV青年海外協力隊の森弥生 (助産婦) さんのバックアップのおかげです。また、国連の機関であるUNFPA (United Nation Population Fund) カトマンズオフィスの飛田紫峰さんを訪問し、私たちのプロジェクトについてお話をしましたが、興味を持たれ帰国後、共同事業展開の可能性が出て来ています。このように夏隊は充実した活動を行うことが出来ました。

理事長 中村 修一

◆NPO法人福岡・ネパール児童教育振興会◆

『夢みる子ども基金の森』の取組みは、地球環境問題を改善しようとする子どもたちによる立案であり、構築性の高いプロジェクトであり、敬服致しております。年に2度、貴基金のプログラムにご招待を受け参列させていただいておりますが、以前に参加した子どもたちの成長とその年に初めて参加するメンバーとの連携した見事なチームワークがいつも心地よく、羨ましく感じています。さて、私共が携わっておりますネパール・ニルマルポカリ村の教育支援ですが、100%の経済支援を打切ったその時から、村の有識者達による学校運営対策が検討されました。学力強化の為に補習授業、貧困家庭の子どもに対する奨学金制度の導入など、彼らなりに一生懸命考えているようです。この学校の学力、衛生、マナーに関しては村でも評価が高いので、良い方向へ向かうことでしょう。当初、貧しい家庭の子どもたちが経済的差別を超えて、普通の教育を受けて将来を自分のものにしてほしいと願うだけでありましたが、教育施設を整え、学校の運営費を援助することでその願いの全てをカバーできました。しかし、結果村人の自立心を衰退させ、依存心を増強させてしまいました。この村の貧困からの脱却は海外からの経済支援ではなく、村人の意識改革によるものだと確信しています。村人の自立を促すためのコーヒー開発事業ですが、毎日頑張っている農家の出現もあり、大いに期待をしているところです。

理事長 篠隈 光彦

平成20年度の決算、21年度の予算と事業計画、3団体に対する寄付・助成金などの議案が満場一致で承認されました。「こどもの夢」の実現のために15年を一つの節目として基金運営に一層力を入れて行くことを誓い合いました。

A photograph showing a group of people, including men and women, seated around a long, dark wooden conference table in a meeting room. They appear to be engaged in a discussion or presentation.

節目の15年を機に
基金運営に新たな取り組み

こどもたちの手による環境こども新聞も反響が大きく、これを読んだ協力歯科医院の申し込みも増えています。3人の歯科

また、監事の山田幸正氏（元日本通運（株）常務取締役）の再任と、下記の実行委員8氏の再任も承認されました。この

の新任は長田行生氏（日本通運（株）執行役員・九州ブロック地域総括福岡支店長）、再任は永田正典氏（福岡県歯科医師

平成20年度（第15期）の会計について吉田雅俊顧問税理士が収支報告書貸借対照表に基づいて説明しました。木村友則監

林を借りて整備を進める
「夢みるこども基金の森」
をどんなものにするかにつ
いての話し合いもあり
ました。

夏のイベントは8月1、2の両日、福岡市と佐賀県唐津市で開くと事務局長から報告がありました。1日は福岡市・天神地区

夢みることも基金は平成19年12月、基金に対し

で地元のボランティア団体と合同で公園や道路の清掃活動を行い、2日は唐津市に舞台を移し、国の特別名勝の虹ノ松原で「林業教室」を開き、森林を守ることの大切さを学んだ後、松葉かきの作業体験をします。その後、近くの野外ステージで松林の中で環境音楽祭を開催。基金のこどもたちの合唱や地元の小学生によるオカリナや太鼓の演

て妨害を続けて来た河原英雄・元日本顎咬合学会理事長ら3人に対して総額3884万円余りの損害賠償請求と謝罪広告の掲載などを求めて福岡地裁に提訴していますが、21年9月25日までに計14回の口頭弁論が開かれました。係争中ですから審理の内容は裁判が終わってからご報告しますが、来年半ば頃までには結審すると見られています。

奏、73人に上る高校生の
プラスバンド演奏、アグ
ネス・チャン理事の歌な
どを通じて、基金が力を
入れている「地球環境保護」
をアピールします。

また、基金は河原元理事長ら3人を偽計業務妨害と名誉毀損容疑で刑事告訴しましたが、福岡地検が平成20年5月に3人を不起訴（嫌疑不充分）

引き続き、平成16年11月から約2年にわたり基金に妨害を続けて来た河原英雄・元日本顎咬合学会理事長ら3人に対する民事訴訟などについての経過報告がありました。

また、基金が林野庁から佐賀県内の数ヶ所の国有

にしたため、20年7月に福岡検察審査会に対し、「不起訴は納得できない」として審査を申し立てていました。同審査会は21年6月に「不起訴処分は相当」との結論を出し、基金の申し立ては認められませんでした。

- ①役員改選
- ②実行委員委嘱
- ③報告
 - ▶平成20年度活動報告
 - ▶平成20年度補綴金属回収報告
- ④平成20年度会計決算
- ⑤平成20年度監査報告
- ⑥平成21年度事業計画
- ⑦平成21年度予算案
- ⑧各種団体への寄付・助成金
- ⑨夏のイベントについて
- ⑩歯科医になった長尾理事の挨拶

【理事・新任】
長田 行生 (日本通運株) 執行役員 九州ブロック地域
松田 富男 (アパレル)

【理事・再任】

永田 正典 (福岡県歯科医師会副会長)
中村 直 (福岡県歯科医師会副会長)
藤芳 素生 (日本河川協会参与、元国)

古市 悟 (元スポーツ報知西部本社取締役編集部長)
古川 洋 (株福岡放送常務取締役)

横島 庄治（NPO法人環境システム研究会理事長
元NHK解説委員）

【理事・退任】
木村 潤（日本通運株）執行役員 九州地域総括福岡支店長

堀部 政男 (一橋大学名誉教授、元中央大学法科大学院教授)

【役職・再任】
常任理事・理事長代行 中村 直
常任理事 古川 洋

常任理事・事務局

伊藤 実喜 (伊藤医院院長)
川合 次郎 (株)福岡放送報道局長
金子 力 (T&A代表取締役)

川越 文雄 (株)福岡放送営業局長
後藤 直弘 (元読売新聞西部本社写真真部課長)
長尾 冷美 (夢みるエドモ基金) B・C (公)

藤井 隆行
（株）福岡放送情報制作局次長兼社会情報部長

山岡 昭次 (株) シーシー九州営業所所

山田 幸正 (元日本通運株常務取締役) ※敬称略



サイトがより見やすくなりました
基金の活動内容をより分かりやすく掲載。
独自ドメインでアドレスが簡単に！
協力歯科医院の申し込み用紙が
ホームページからダウンロード可能
「よくある質問」で観覧者の疑問を解消



「夢みるこども基金」の
ホームページが新しくなりました。

夢みるこども基金サイトリニューアル

- 1 基金の活動を分かりやすくカテゴリー分けしました
●社会福祉活動 ●環境保護活動 ●海外教育支援活動 ●海外医療支援活動
- 2 個々の活動を細分化して掲載、それぞれの最新情報を更新しやすくなりました。
- 3 「環境こども新聞・エココ」の投稿がHPから出来るようになりました。

会員や一般の方々に、「わかりにくい」との意見を多数頂いておりました基金のホームページをこのたびリニューアルしました。新たに、基金が環境保全活動としてスタートさせた「環境こども新聞の発行」「夢みるこども基金の森づくり」「サクラの植樹」のページが加わり、「環境こども新聞・エココ」の原稿もホームページから投稿することが出来ます。

また、よくある質問Q & Aのページを作り、今まで事務局に寄せられた金属回収や作品コンクールについての疑問点などもまとめました。その他、バングラデシュの「夢みるこども基金学校」のページも加わり、今の学校の様子を詳しく知ることが出来ます。アグネス・チャン理事のメッセージも載っており、ホームページもリンクしています。

また、過去の基金だよりのイベントページ、環境こども新聞も閲覧することが出来ます。新着情報なども随時載せて行こうと思っていますので、ぜひのぞいて見て下さい。

誰が見てもよくわかる、親しみやすいホームページを目指して、これからも事務局で工夫して行きたいと思っていますのでよろしくお願いします。



「夢みるこども基金」のホームページは下記アドレスからご覧下さい

URL: <http://www.yumemirukodomo.jp>

Webでの検索は

夢みるこども基金

検索

今すぐClick!

夢みるこどもキャンペーン・協力歯科医院申込FAX用紙

住 所	郵便番号	〒
	都道府県	
	市区郡町名番地	
	マンション名 ビル名	
医 院 名		(ふりがな)
院 長 名		(ふりがな)
TEL		() —
FAX		() —
*通信欄 (ご意見・要望などありましたら記入ください)		

キリトリ線から切り取り、FAXにてご送信くださいますようお願い致します。

キリトリ線

- *お申込みをいただきましたら、事務局から待合室に貼るポスター、回収箱などをお送り致します。
- *定期回収は毎年秋ですが、補綴金属は随時受け付けています。少量でも結構です。
- *金属をお送りいただく際は、JPエクスプレスのペリカン便・フリーダイヤル【0800-0800-111】にお電話いただき“着払い”でお送り下さい。
- *登録費、年会費はございません。

「基金の流れ」は背表紙に掲載しております。
「夢みるこどもキャンペーン」の実績については下記ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.yumemirukodomo.jp>



お申し込みFAX番号

FAX 092-751-0249

※右のキリトリ線から切り取りFAXをお流し下さい。

基金の流れ

「金属冠」は換金され、子どもたちの支援に役立てられます。



毎年「こども会議」で決められた子どもたちの夢の実現



基金学校の設立や援助



盲導犬の贈呈



筋ジストロフィーの方の支援など

10月11月は金属冠回収月間です

●いつでも受け付けています

協力歯科医院のお申込みは、随時「基金事務局」で受け付けています。入会頂くと、直ちにポスター、木箱、内ボトル2個をお送りします。金属冠はこの内ボトルに貯めて頂き、基金にお送り頂く際は、JPエクスプレスのペリカン便でボトルのみ事務局へお送り下さい。

●JPエクスプレス・ペリカン便はいつでも出動OK

金属冠の回収は年間を通して受け付けていますが、特に10月と11月を強化月間としています。少量しかたまっていくなくても構いませんので、ペリカン便フリーダイヤル（0800-0800-111）へ電話し、《着払い》でお送り下さい。直接、基金事務局（092-751-0021）へ電話されても結構です。

金属冠集荷フリーダイヤルが変わりました

JPエクスプレス・ペリカン便 ☎0800-0800-111

日通の皆さんありがとうございます

このキャンペーンを支えて頂いているのは、全国の歯科医院などから寄せられる金属冠ですが、前述のように輸送を担当される日本通運本社、JPエクスプレス各支店のご協力も大きな力になっています。基金発足当時から回収などの輸送は全額、日本通運本社が負担、全社員の皆さんにボランティアに参加頂いています。

業者に委託しての回収はしていません。

夢みる子ども基金は金属冠の回収を正確、クリアにするために金属冠は基金に直接送って頂いています。これまで一部の金属業者が「基金と提携している」「業者から基金に送る」などとウソをついて金属冠を持ち去るケースがありましたのでご注意ください。また、基金は設立時から国税局の指導を受けながら業務を進めており、協力歯科医院に対しては毎年度、基金日より一緒に決算書などを送付しています。金属冠を送って頂いた歯科医院等については、そのつど受領証と感謝状を送り、基金備え付けの帳簿に受け入れ年月日、重量など細かく記録しています。課税関係などで問題が生じた時にも対応できるようになっていますのでご連絡下さい。

編集後記

15年の思い

夢みる子ども基金が15年の節目を迎えました。協力歯科医院の先生方を始め、基金を支えて下さった多くの人たちに心より感謝申し上げます。ひとり一人に直接お会いして、お礼を述べたい気持ちです。

15年は私にとっても感慨深いものがあります。毎年の春のこども会議、夏のイベントなどが脳裏に浮かび、子どもたちの澄んだ瞳と笑顔がよみがえってきます。

阪神淡路大震災で両親を亡くした子どもたちを熊本県・阿蘇に招き、大自然の中で基金や地元のことと交流した第1回のイベントが基金のスタートでした。作文の最優秀賞に輝き、イベントの提唱者になった当時小学4年生だった長尾怜美さんは「基金のお手伝いをしたい」と現在、歯科医師となり、基金の理事として私たちの頼もしい仲間です。

イベントの思い出は尽きませんが、私が一番印象に残っていることがあります。同じ阿蘇で開いた第2回イベント「阿蘇

た第2回イベント「阿蘇

こどもみどり村」です。宮崎、大分、熊本、3県の筋ジストロフィーバンドの子どもたちがアグネス・チャン基金理事と「ジョイントコンサート」を開きました。その時、宮崎から参加した「ザ・パッションズ」（本来は情熱という意味ですが、受難という意味もあるそうです）のボーカルを務めた18才の少年のことです。少年は別れの挨拶の中で「僕は阿蘇に来て、たくさんの人に会ったことが出来ました。もっと大きな人間になろうと思いましたが」と車イスの上で静かに話しました。

筋ジスは難病で若くして、命を落とすことが多くあります。そんな境遇の中でも「もっと大きな人間になりたい」という前向きで一途な一言に、私は「あなたは今までどんなことを考えて生きてきたのか」と問われたような気がしました。自分が恥ずかしくなると同時に、人間としてどう生きるべきか、を教えられたような気がしました。

私はこの少年のことが、入院先の宮崎市内の病院を訪ねました。会った

に体が衰えて行くのが分かってしまいましたが、少年はいつも歌を口ずさんだり、イヤホンで音楽を聞きながら阿蘇で出会った時と同じような笑顔を見せてくれました。しかし、今年4月に亡くなったそうです。32才でした。私は「よく頑張ったね。ありがと」と胸の奥でつぶやくのがやっとでした。

私事が続き恐縮ですが、私が基金立ち上げの時からこのキャンペーンに携わり、毎年、子どもたちと一緒に「夢」を追い、子どもたちからエネルギーをもらって生きているのもこの少年との出会いがあったからだと思います。基金発足から15年。

「高齢になり歯科医院を閉じました」という寂しく、悲しい知らせが届くことも多くなりました。歳月の流れを感じますが、私たちは長年にわたり、こどもたちの「夢」の応援団として支えて下さった人たちのお気持ちを忘れずに、これからも皆さんと一緒に歩み続けたいと思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。

常任理事・事務局長 古市 悟



発行 夢みる子ども基金事務局

URL: <http://www.yumemirukodomo.jp>

〒810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂1-12-6-2F

☎092-751-0021 FAX 092-751-0249

e-mail: jimukyoku@yumemirukodomo.jp